

2025IECEx 日本年会説明会 質疑応答

Q1：資料にスポンサーのメリットが記載されています。2番目に関係者との交流機会が提供されるとありますが、具体的にどのような場面が考えられますか。

A1：代表例としてとして、MC ディナーへの参加が考えられます。MC ディナーは、各国の試験認証機関の代表者などの会議関係者のみが参加でき、一般の方は参加できないイベントですが、スポンサー様は特別に招待され、会議関係者と会話できるので、グローバルなネットワーク形成の貴重な機会になると考えられます。

Q2：資料に、スポンサーは希望によりシンポジウムのテーマ選定に関わることができると記載があります。例えば、月一度のWEB ミーティングなど、具体的にどのような関わり方になるのでしょうか。

A2：スポンサー個々の企業様のご希望によります。シンポジウムのテーマ選定にご興味ない場合には関わっていただくなくても結構ですし、より深く関わりたい場合、ぜひ企画に関わり、宣伝枠をもう受けたいなどのご希望があれば、積極的に関わっていただくと思っています。スポンサー様全体に対するアンケートを実施する予定ですので、ぜひ企画に関わり、宣伝枠をもう受けたいなどご希望をご相談ください。ご希望によっては、定期ミーティングにご参加いただくことになるかと思えます。

Q3：スポンサーになった場合、製品等を展示する機会及びスペースはありますか。

A3：会議会場（RoomB-1）の前が少し広いスペースになっており、そのスペースをコーヒースペースの場所として使う予定です。その一部に、ポスターや製品を展示しながら質問等を受けられるブースをいくつか設けることを考えています。

Q4：コーヒースペースにポスターを展示する場合、大きさやサイズの取り決めはあるのでしょうか。

A4：会場（京都国際会館）から特に制限があるとは聞いておりませんので、ポスターのサイズは比較的自由かと思えます。個々のスポンサー様からのご相談次第かと思えます。

Q5：IECEx システムの ExTAG 及び ExMC などのミーティングには、一般のメーカーも参加できるのでしょうか。それとも、スポンサーにならないと参加できないのでしょうか。

A5：シンポジウムを除いて他の会議に参加するには、各国のメンバーボディーの了承が必要です。日本の場合には、ExTAG 及び ExMC などのミーティングに参加するためには、JISC 殿の了承が必要です。スポンサー様はオブザーバーとしての参加になりますが、どこまで認められるかは、JISC 殿及び IECEx システム事務局との相談になります。

IECEx の年会のこれまでの実績上、開催国のホストが結構な数のオブザーバー席を確保し

て自国のメーカーを会議に招待した事例がありましたので、私ども THIS もスポンサー様のためのオブザーバー席を確保して JISC 様に承認をお願いしたいと考えています。

Q6：長年の夢と課題の IECEx 年会日本開催がやっと叶うことになり、日本の防爆業界及び THIS にとってめでたいことはありますが、日本の防爆産業におけるデリケートな事情（行政、規制、外国立地の検定機関など）を改善するきっかけにできるよう、より広い目線で活用するのはいかがでしょうか。

A6：ご指摘ありがとうございます。そのような国内事情も配慮しつつ、国内事情を国内に、また、国際事情を国内に発信するなど、私ども THIS ができることを進めて参りたいと思います。

Q7：一日あたりに会議に参加される人数はどれくらいでしょうか。

A7：ExMC 会議の場合、メンバー国 36 カ国から各国 3 名までが代表として参加可能ですが、控えとして参加し、議題毎に代表を交代することができるので、実際には 3 名を超える人数が参加する国が多くあります（中国など）。ただ、ロシアなどのように国際事情により参加できない国及び国内事情及び予算の関係で 1、2 名しか派遣できないという国も年毎ありますので、参加総数は年毎異なって、参加申込期限（開催 1 ヶ月前）までわかりません。魅力的な開催都市であれば、沢山の参加者が集まる場合があります。その場合、家族同伴も多くなるので、MC ディナーの参加者も増えます。日本は、海外から訪れたい国の一つとして人気があるので、多くの方が参加されるかと思われます。ただ、例年では、ExMC 会議の参加者は 120 名から 150 名ぐらいで落ち着くのが通常ですので、日本年会の参加者人数は大体 130 名ぐらいを予測しています。シンポジウムについては、どの程度盛大に行うかによって人数が異なり、また、参加費が有料か無料か影響しますが、日本の場合、参加費なしで盛大に行った場合、150 名以上になると予測していますが、200 名は超えないと思います。

Q8：そうすると、会議室（Room B-1）は最大 200 名ぐらいが受容できるような余裕を持った会場でしょうか。それとも、参加者が多くなると、ほぼ満席状態になる規模でしょうか。スポンサーになった場合、会場で宣伝できる最大人数はどれくらいと想定すれば良いのでしょうか。

A8：Room B-1 は、スクール形式で 200 名の受容は厳しいです。1 階のスクール形式席と 2 階のオブザーバー席を合わせて 160 名ぐらいでほぼ満席になります。

Q9：シンポジウムの参加費はありますか。あれば、どれくらいになりますか。

A9：スポンサーの方は無料ですが、一般の方に対する参加費の有無はまだ確定していません。シンポジウムの定員は最大 150 名程度と考えており、会場費用は決まっておりますが、ティーブレイク及び昼食は人数によって費用が変動しますので、参加費有無及び金額は、ス

ポンサー寄付額がどの程度集まるかによります。予算次第ですが、来年の春ぐらいにはある程度見えてくると思います。

Q10：シンポジウムの定員を 150 名程度と考えているとのことですが、定員になった場合、参加を締め切る形でしょうか。それとも、WEB にて参加も検討中でしょうか。

A10：今現在、シンポジウムの WEB 参加は考えていませんが、参加希望者が多くなる場合にはできないこともないと思います。シンポジウムの参加者人数は、私どもの宣伝次第かと思いますが、(今回の説明会の大阪会場の場合と同様に) 参加希望者人数が中々予測できない部分があります。様子を見ながら臨機応変に対応しようと考えています。

Q11：スポンサーの寄付額についてはお問合せくださいと記載ありますが、スポンサーの申込数によって金額が変わるため、現場は具体的なものはなく、時期によって決定するという感じでしょうか。

A11：一応「案」は用意してありますが、スポンサーがどれくらい集まっていたか分からないので、現在はあくまでも案です。スポンサーのランクもランクごとの寄付額もまだ明確に決まっているわけではありません。ランクの高いスポンサー様にはより多めの寄付金を期待しております。「案」の詳細については、実際にスポンサーになることにご興味をいただく方々に個別に今の案をご案内し、個別に相談及び調整する形で考えております。スポンサーへのお問い合わせをもって相談及び調整を行ってから確定することになります。

Q12：スポンサー枠と寄付金がまだ確定ではないとのことなのでコメントですが、スポンサーの募集枠 (11 社) が少ないように思われます。1 社当たりの寄付額を下げてもより広く募集するということは考えていませんか。

A12：スポンサーにご興味をお持ちいただける企業様が何社ぐらいか予測できない現在では、決めるのに中々難しい問題です。スポンサー数が増えますと、1 社ごとに目の留まる機会が下り、宣伝効果や価値が下がりますし、例年でもスポンサー数は数社という感じでしたので、私どももあまり多くは増やせないと考えています。ご意見ありがとうございます。今後のお問合せの様子を見ながら、調整させていただきます。

Q13：スポンサーは宣伝活動ができるとのことですが、防爆機器のメーカーとしてはユーザーさんに向けて発信したいと思いますが、この IECEX 年会とシンポジウムに参加する人は、IECEX 関係者と防爆機器のメーカーがメインになるのでしょうか。防爆機器を知りたいと思うユーザーさんが気軽に参加できるよう、案内するご予定はあるのでしょうか。

A13：アイデア、ありがとうございます。残念ながら TIIS はユーザーさんとのコネクションがあまりなく、私どもからユーザーさんへのアクセスには限りがございますので、ユーザーの集客がどこまでできるかは不明です。スポンサー様のニーズにお応えするためには、場

所を別途お借りて展示会を行なっても良いとは思いますが、その場合、無料にするのは難しく、一方、有料にすると集客の面が心配され、悩ましいです。

Q14：資料に記載ある概算予算についてですが、絶対足りないと思います。日本は今世界中に人気があるので例年の年会より参加者が多くなることと家族連れが増えることが予想されます。特に、京都は混雑しているので、宿泊の確保及び観光やイベントの手当なども含み、いろいろサービスが必要になると思います。もっと余裕を持って予算立てをした方が良いと思います。

A14：ご指摘ありがとうございます。公益社団法人としてあまり華美なことにはできず、概算予算は抑え目に立ててあります。それでも、積立金の計画を立てた当初に比べて昨今物価が大幅に上昇していますので、実際には積立金では賄えそうもないということをご理解いただき、ご支援いただくと幸いです。

Q15：水曜日に行われるシンポジウムについてですが、午前中とは確定ですか。日本からシンポジウムに参加するスポンサーに配慮した場合、ポスターやチラシの配置等の準備時間を確保できるよう、午後に行くことは可能ですか。京都は宿が取れないことも考えられるので、前泊せずに参加できるよう、午後に行った方が良いと思います。

A15：ご意見ありがとうございます。確かにご指摘のとおりなので、IECEx事務局とスケジュールを調整させていただきます。

以上